PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

04-150113

(43) Date of publication of application: 22.05.1992

(51)Int.CI.

H04B 7/04

(21)Application number: 02-271068

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing:

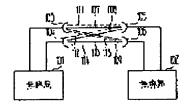
09.10.1990

(72)Inventor: UEDA KAZUNORI

(54) SUPERDIVERSITY SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To warrant the quality of a line by using a reception SD system and a transmission SD system in common so as to reduce the effect of interference fading for a longer distance range. CONSTITUTION: The reception diversity system is employed for the system in which radio waves 107, 109 sent from one antenna 103 of a 1st radio station 101 are received by two antennas 105, 106 of a 2nd radio station 102 and the two received radio waves subjected to in phase synthesis control to receive the radio wave. Moreover, the transmission diversity system is employed in common for the system, in which radio waves 107,109 with a different phase sent from two antennas 103, 104 of a 1st radio station 101 are received by one antenna 105 of a 2nd radio station 102 and phase difference information of the two received radio waves 107, 108 is sent back to the 1st radio station 101 to control the transmission phase difference of two



transmission waves 109, 110 corresponding to the phase difference information. Thus, even in the case of long range transmission in which the condition of interference fading is severe, the quality of line is warranted.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

Kind of final disposal of application other

than the examiner's decision of rejection of AVAILABLE COPY

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

(54) D/A CONVERSION METHOD (11) 4-150111 (A)

(43) 22.5.1

(19) JP

(21) Appl. No. 2-270820 (22) 8.10.1990

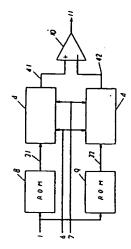
(71) MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD (72) TAKEYUKI TAKAYAMA

(51) Int. Cl⁵. H03M1/82

PURPOSE: To eliminate second harmonics component having been unavoidable in a conventional D/A conversion method by adopting this method such that a center position of a synthesized pulse output has always a prescribed phase

difference with respect to a timing signal.

CONSTITUTION: An input digital signal 1 inputted synchronously with a timing signal 6 is converted into parallel signals 31, 32 corresponding to a prescribed pulse waveform by ROMs 8, 9. Then a parallel/serial converter 4 applies parallel-/serial conversion to parallel signals 31, 32 outputted from the ROMs 8, 9 by a timing signal 6 and a clock signal 7 to convert the signals 31, 32 into pulse outputs 41, 42. Then the pulse outputs 41, 42, are given to a subtractor 10, in which they are subtracted, thereby allowing the digital signal 1 to be PWMconverted into a synthesis pulse output 11. In this case, the center position of the synthesis pulse output 11 always has a prescribed phase difference with respect to the timing signal 6. Thus, no second harmonics are produced in the synthesis pulse output 11.



(54) CHARACTER CODE CHECKING PROCESSOR

(11) 4-150112 (A)

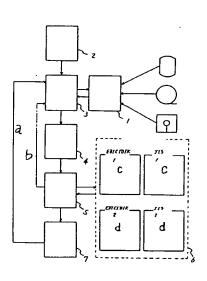
(43) 22.5.1992 (19) JP

(21) Appl. No. 2-271075 (22) 9.10.1990

(71) NEC CORP (72) HIDEYUKI HOSHI (51) Int. Cl⁵. H03M7/30

PURPOSE: To improve the reliability and to reduce the processing time by identifying whether a character code is a one-byte code or a two-byte code and retrieving whether or not the character code is stored in a character code storage section.

CONSTITUTION: A shift code detection section 3 detects an undesired shift code by the check item of an input record and a code type identification section 4 identifies that the code to be checked is whether the code is a one-byte code or a two-byte code and applies a required processing. Then a character code retrieval control section 5 accesses a character code storage section 6 based on the checking mode, decides the result of retrieval and controls a pointer to check a succeeding code when the code is normal and informs the information to a result display section 7 when the code is in error. Thus, even an item in which a one-byte code system and a two-byte code system are present in mixture is checked, the information with high reliability is secured and the processing time is shortened.



1: input code access section, 2: start information control section, a: at error check, b: check of succeeding type, c: one-byte code, d: two-byte code

(54) SUPERDIVERSITY SYSTEM

-(11) 4-150113 (A) (43) 22.5.1992 (19) JP

(21) Appl. No. 2-271068 (22) 9.10.1990

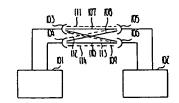
(71) NEC CORP (72) KAZUNORI UEDA

(51) Int. Cl⁵. H04B7/04

PURPOSE: To warrant the quality of a line by using a reception SD system and a transmission SD system in common so as to reduce the effect of interfer-

ence fading for a longer distance range.

CONSTITUTION: The reception diversity system is employed for the system in which radio waves 107, 109 sent from one antenna 103 of a 1st radio station 101 are received by two antennas 105, 106 of a 2nd radio station 102 and the two received radio waves subjected to in phase synthesis control to receive the radio wave. Moreover, the transmission diversity system is employed in common for the system, in which radio waves 107,109 with a different phase sent from two antennas 103, 104 of a 1st radio station 101 are received by one antenna 105 of a 2nd radio station 102 and phase difference information of the two received radio waves 107, 108 is sent back to the 1st radio station 101 to control the transmission phase difference of two transmission waves 109, 110 corresponding to the phase difference information. Thus, even in the case of long range transmission in which the condition of interference fading is severe, the quality of line is warranted.



⑩日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

平4-150113 母公開特許公報(A)

®Int.CJ.⁸

庁内篮理番号 職別記号

网公開 平成4年(1992)5月22日

H 04 B 7/04

9199-5K

審査闘求 未請求 顕求項の数 3 (全5頁)

の発明の名称

スペースダイパーシティ方式

釣特 願 平2-271068

公出 頭 平2(1990)10月9日

@発 明 者 植田 和 典

東京都港区芝5丁目7番1号 日本電気株式会社内

⑦出 顧 人

日本電気株式会社

東京都港区芝5丁目7番1号

弁理士 内 原 1960 理 人

発明の名称

スペースダイバーシティ方式

特許請求の範囲

1、ディジタル無線方式の対向する第1日よび 節2の無銀局間士が干渉性フェージングによる電 放減変が考えられる伝搬路を介して無額接続を れ、前記無線局のそれぞれが少なくとも2個の透 受信機とアンテナとから構成されるダイバーシテ く方式において、前記第1の鉄雄局を送信側とし て使用する場合に、この第1の無線局の1つのプ ンテナから送信される電波を前記第2の無線局の 2つのアンチナにより受信し、2つの受信電波の 同格合成制御を行って受信する受信ダイパーシテ ィ方式と、前記第1の無線局の2つのアンテナか ら送信される位相の異る磐波を前配用2の無線局 の1つのアンチナで受信し、この2つの受信電波 の位格差僧報を前記部1の無疑局に送り返して前 記位相差情報に対応する2つの送信波の通信位把 益を制御する送信ダイバーシティ方式とを併用す ることを特徴とするスペースダイバーシティ方

2. 前記第2の無視時である受信局が、前記受 信ダイバーシティ方式の2つの受信波を合成する 第1のハイブリッドと、前記送信ダイバーシティ 方式の第2のハイブリッドと、約記算2のハイブ リッドの出力倡导の位相差を検出して前記第1の 無課局に位祖益情報を送出する位祖差技出器とを 有することを特徴とする調求項1記載のスペース ダイバーシティ方式。

3. 創記第2の無線局である受信局が少なくと も2つのアンテナを利用して受信した2系統の回 相に制御された位相合成受信信号を出力し、この 2 系統の位相合成党信信号のうちのS/Nのよい 方の受信信号を選択するスイッチを有することを 特徴とする請求項1記載のスペースダイバーシテ ∢方式.

特期年4-150113 (2)

発明の詳細な説明

〔産薬上の利用分野〕

本発明はディジタル無視方式のスペースダイバーシティ方式に関し、対向局面において送信ダイバーシティとよび受信ダイバーシティにより干渉 性フェージングを改善するスペースダイバーシティ方式に関する。

(従来の技術)

従来、ディジタル競技方式では、電波の反射や 足折等による干渉性フェージングにより電波が衰 表し、回級品質が劣化するので軽減(以下SD方式、 という)が使用されている。この方式式れること 渉性フェージングによる電波減が考えられること 渉性フェージングによる電波減が考えられるこの ではおいて、2径路以上の伝統器を構成し、この での姓を利用することにより回環品質の劣化を 転減している。

このようなSDガ式のうち受信SD方式の補成を第3回に示す。30~は送信側の無視局、30

2は受信側の無額局、無数局301は送信用のア ンテナ303を省し、無額局302は高さの異な る受信アンテナ304、305を有する。アンテ ナ303から送出された電波は伝紙路306. 305を有する。アンテナ303から送出された 電波は伝展路306、307の異なった役階をへ て、アンテナ304、305に到着する。アンテ ナ304、305で受信された2つの異なった受 信信号から信号を再虫する方法としては、主に切 替方式又は合成方式の 2 通りの方法が用いられ る。他のSD方式の例として迷信SD方式の構成 を第4因に示す。601は高さの異なるアンテナ 603,604を持つ迷路側の無機局、602は 受信劇の無駄局である。無銀局601は変調器6 06の出力をハイブリッド607で分岐し、一方 はそのまま送信商風紋部608Aを径てアンテナ 603により送出し、もう一方は無限位相器(以 下EPSという)610を用いて局部発疑器60 9の位相を考えることにより、送信器周波節60 8Bの送信信号の位相を変化させた後、アンテナ

6 0 4 よりは2 かのでは 2 では 2 でのいまする。 4 よりは 2 でのいまする。 6 1 でのいまでは 2 でのいまでは 2 でのいまする。 6 1 でのいます。 6 1 でののいます。 6 1 でののいます。 6 1 でののいます。 6 1 でののいと、 7 でのでは 6 1 でののいと、 7 でのでは 6 1 でのいます。 7 でのでは 6 1 でのいます。 7 でのいます。 8 でのは 8 でのいます。 9 でのは 8 でのいます。 9 でのは 8 でのいます。 9 でのは 8 でのいます。 9 でのは 9 でのは 9 でのいます。 9 でのは 9

(発明が解決しようとする課題)

上述した従来のスペースダイパーシティ方式は、SD用アンテナが一方の時のみに設置されるので、さらに、距離が長くなったときに従来のS

D 方式では、回線品質を保証できなくなる欠点が れる。

本発明の目的は受信ダイバーシティと返信ダイ パーシティとを併用することにより、干渉性フェージングの条件が厳しくなる 長耙 軽伝娘の場合で も回録品質を保証できるスペースダイバーシティ 方式を提供することにある。

(課題を解決するための手段)

本発明のスペースダイバーシティ方式は、で サタル無理が出てフェーンがによる電子を 対向すがになった。 対向ではないが、 はいまれたでは、 はいまれたでは、 はいまれた。 はいまなな。 はいまなな。 はいまなな。 はいまなな。 はいまなな。 はいまなな。 はいまなな。 はいまななな。 はいまななな。 はなななな。

35間平4-150113(3)

位相の異る電波を前記第2の無軽局の1つのアンテナで受信し、この2つの受信電数の位相差領部を前記第1の無線局に送り返して前記位相差情報に対応する2つの送信波の送信位相差を割御する ・ 佐信ダイバーシティ方式とを併用している。 (実施例)

次に、木発明について図面を参照して説明する。

第1図は本発明の一実施例のシステム構成図、 第2図は第1図の無線局101、102内の構成 図である。なお、無線局101、102は同一の 構成である。第11図において、101、102 は無疑局であり、それぞれアンテナ103、10 4、105、106を有する。アンテナ103~ 106は活受共用アンテナである。

いま無線局101を送信仰、無線局102を受信側として第2回により送信側の無線局101の 構成と動作を説明する。無線局101の変調器201で変調された個号はハイブリッド202で分載される。変調器220は、送信高周数部203 AでRF変換され、高別紋地経緯206Aで地線された後、アンテナ208Aから送出される。変調信号221はEPS204において免疫器205の基準クロックを変化させることによって、送信高別波部206Bを径てアンテナ208Bより選出される。

次に、受信側の無線局102の構成と動作を観波のする。まず、受信がイバーシティの場合のの制度をあって、選信側の無線をあって、選信側の無線をある。1000元とは、100元とは、100元とは、100元とは、100元とは、100元とは、100元とは、100元には、100元には、100元には、100元には、100元には、100元にの第1回における電波(10元には、

2 1 0 A 、 2 I O B で I F 変換し、ハイブリッド 2 1 3 Aで合成し、復詞数2 1 4 Aで復調され る、合政時に発生する経緯変調分は、受信SD割 御部215Aにおいて受信SD馴御信号に変換さ れ、合成波222の出力が最大になるようにEP S 2 1 2 A の制御を行い、受信器周波器 2 1 0 A、Bの出力は号の位相を同相にする、次に受信 ダイパーシティの第2の系統で、第1図における 電波108、110が第2回におけるアンテナ2 08A、208Bで受信される。この第2の系統 は受信高周波部210℃、210D、ハイブリッ ド213B、復調器214B受信SD制師部21 5 B、 E F S 2 1 2 B、 発振器 2 1 1 B で構成さ れ、この動作は前述の第1の系統と全く同じであ る。こうして得られた復調信号224及び225 はスイッチ218においてより回縁品質のよい方 が函択され、出力信号226が得られる。

次に受信側の無額局102が送信ダイバーシティとして動作する場合の構成と動作を説明する。 まず、送信ダイバーシティの電波ルートは第1図 に示すように、受信側の無縁局102ではアンテ ナ105,106(第2図では208A,208 B) で受信されるが、アンテナ105にはアンテ ナ103から送出された電波107と、アンテナ 104から送出された報波108が受信される が、建設108は電波107に対し位相のずれた 但波である。また、アンテナ106にはアンテナ 103,104から送出された電波109、11 0 が送出されるが、この 2 つの電波は電波 1 0 7、108に対して異なった時間で受信される。 なお、, 飯貌で示した電波111~114は、無 載局101が受信制、無線局102が送信期の場 合の後路を示す。第2因にもどって説明すると、 まず、第1回における区波107、109がアン テナ208A.208B受信されると、サーキュ レータ207A、207B径由分波器209A、 209日により分数されて、受信高周数部210 A. 210日に入力される。受信高周波部210 A. 210Bの2つの出力信号はハイブリッド2

16人において合成されて位相差検出器217に

特別平4-150113(4)

おいて両信号の位相各に相当するAM成分の信号 が校出される。このAM収分の信号は対内局であ る無線局101へ制御提等を介して送り返され る。無線局101では、このAM成分の信号を憤 報として受け取り、無線101における送信部を 第2図とすると、相手局からのA貝成分の併報を 送信SD例御部219に入力し、この位相差に相 当するAM成分が小さくなるようにEPS204 を制御する。前述と同様の進信ダイバーシティの 制御ループは受信高周波210℃、210D、ハ イブリッド2168、位相去検出器217、选信 SD制御部219の制御ループの場合も同様に動 作する。なお、送信SD駒御都219は、送信ダ イパーシティ電波の組合わせが、電波107と1 08の場合と、電放109、110の場合とで質 透局から送られてくる位格益情報を有する制御信 号を選択してEPS204を倒替している。なお、 受信部では、受信ダイバーシティの場合の位額を 成位号と光信ダイバーシティの場合の位格合成信 号とを区別する必要があるので、送信部ではAM

成分を生成するP が変調圏放数信号を通信および 受信ダイバーシティの場合とで変える等の方法を 考える必要がある。

(発明の効果)

以上説明したように本発明は、受信SD方式と 送信SD方式とを併用することにより、従来のS D方式の回談品質保証距解に比べ、より兵距離の 区間で、干物性フェージングの影響を軽減し、回 税品質を保証できる効果がある。

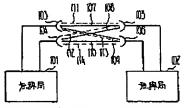
図面の簡単な説明

第1回は本発明の一実施例のシステム構成図、 第2図は本実施例における無線局の回路構成図、 第3辺は従来の受信SD方式の構成図、第4回は 従来の进信SD方式の構成図である。

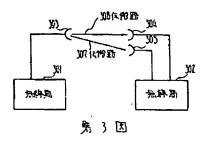
101.102… 無限局、103~106. 208A、208B…アンテナ、107~!14 …電波、201…変調器、202、213A、5 …ハイブリッド、203A、203B…送信高周 被称、204…EPS、205…免集器、206

A. 207 B… 高島政地福器. 207 A. 207 B…サーキュレータ. 209 A. 209 B. 分数 超. 210 A~ 210 D… 受信高局故部、211 A. 211 B…免級器. 212 A. 212 B… EPS. 214 A. 214 B…復調器. 215 A. 215 B 受信 SD制御部. 216 A. 216 B…ハイブリッド、217…位相互被出器、218 …スイッチ、219…送信 SD制御都.

代理人 弁理士 内 原



要求 107 ℃ 100 】 注信が1パーパト電車の租合わせ 要求 107 ℃ 110 】



特图平4-150113 (5)

